

社団法人 全日本川柳協会

平成19年度 通常総会議事録

(平成19年度 2007 -)

日 時 平成20年2月10日 (日)
場 所 千代田区神田佐久間町1-11
千代田区「和泉橋区民館」

社団法人全日本川柳協会

平成19年度通常総会議事録

- 1、日 時 平成20年2月10日（日） 14：10～16：00
- 2、場 所 千代田区神田佐久間町1-11 千代田区「和泉橋区民館」
- 3、出席者の確認
出席者数 43名・委任状出席 213名・合計 256名
正会員現在数420名の内上記のとおり定足数210名に達しており、よって定款第27条により当総会の決議事項は有効であることを確認した。
- 4、議事録署名者選出
八木柳雀、早川双鳥の2氏を議事録署名者として選出した。
- 5、議 事
今川乱魚会長を議長に選出し、次の事項を審議決定した。
 - 第1号議案 平成20年度事業計画承認の件
今川議長の指名により本田事務局長から、議案書に基づき平成20年度事業計画について説明。これらを一同に諮ったところ、全員一致これを承認した。
 - 第2号議案 平成19年度補正収支予算承認の件
今川議長の指名により塩見理事長から、平成19年度は栃木大会関連の助成金支給が決定したことにより収支額の増加があるため、実体に合わせて補正予算を作成したい旨の説明があった。これらを一同に諮ったところ、全員一致原案どおりこれを承認した。
 - 第3号議案 平成20年度収支予算承認の件
今川議長の指名により塩見理事長から、平成20年度予算案について議案書に基づき説明があり、質疑応答を行なったのち、全員一致原案どおりこれを承認した。

- 第4号議案 80歳以上の功労者顕彰他 表彰の件
特別表彰、80歳以上の功労者顕彰、および栃木大会成功への感謝を表すため、栃木実行委員会に感謝状を贈ることについて提案がなされた。一同に諮ったところ異議なく全員一致これを承認した。福岡大会の前夜祭において表彰する予定。
特別表彰の対象者（1名）
群馬県 遠藤しげる（日川協常任幹事、前太田市川柳協会会長）
第4回80歳以上の功労者顕彰の対象者（5名）
北海道 大野 信夫（北海道川柳連盟常任理事、旭川川柳社主幹）
秋田県 広川 てる（秋田川柳社会員、ふあうすと川柳社同人）
埼玉県 福田案山子（六星川柳会主幹）
鳥取県 小林由多香（鳥取市文芸協会理事、鳥取県川柳作家協会会長）
沖縄県 国吉司図子（沖縄県川柳協会会長、川柳の里おきなわ代表）
- 第5号議案 川柳文学賞の件
今川議長から、配布資料に基づき川柳文学賞の申請者について説明がなされた。申請者11名の個人川柳句集を川柳文学賞の選考対象者とする。これらを一同に諮ったところ、全員一致これを承認した。
- 第6号議案 賞品（盾）実費負担の件
今川議長の指名により、本田事務局長から、日川協から大会などに対する賞品（盾）の実費負担について説明がなされ、大会主催者に五千円の実費負担をお願いすることとなった。全員一致でこれを承認した。
- 第7号議案 その他
出席者から次の発言があり、一同に諮ったところ全員これを承認した。
本田事務局長から、委員会構成表（案）を配布し意見を求めた。組織強化委員会は地域ブロック化して担当を決めることとし、竹本、大野正副委員長を中心に東西の常任幹事会で成案を作成し、6月の総会に付議することとなった。また、ジュニア委員会の下に教科書小委員会を設け、川柳の教科書への掲載を促進することとなった。
日川協活動のコミュニケーションを強化し、また柳社の減少を防止するため、地方の勉強会に団体会員として会員のなるように働きかけてはどうかとの意見があり、勉強会を催している主な方に日川協入会案内書を送ることとなった。
今川議長から、3月20日に福岡・大宰府館、4月22日に新潟県で常任幹事会を開催予定である旨、報告があった。
補足して、清水厚実監事から、平成23～25年に行われる小・中・高校の教科書改定のポイント（国語・伝統文化重視）について説明があり、川柳を掲載して貰うためには教材を用意して教科書団体、教科書会社に組織的に働きかけることが必要だろうと述べられた。

以上により本日の議事を終了し、議長から謝辞を述べたのち閉会を宣した。